

検討の背景

政府の動き

「科学技術イノベーション総合戦略2016」、「未来投資会議」
Society5.0, i-Constructionなど

新技術

ICTの急速な進化、革新的な技術開発
Internet of Things (IoT), 人工知能(AI) など

新たな社会実現に向けて、「国土を測る」活動がさらに重要になっていく

新たな社会
実現への
測量分野の課題

- ・新技術に対応した今後の社会を「国土を測る」活動が支えていくには、技術革新に貢献できる**技術者の確保・育成**が必要
そのためには、
- ・「国土を測る」活動の**意義や役割**に対する世の中の理解を深めていくことが不可欠

「『国土を測る』意義と役割を考える懇話会」において今後の取組の方向性を整理、報告書として取りまとめ

報告書 「国土を測り、未来を描く」～測量・地図の「力」と「可能性」を伝える～ 概要

「国土を測る」活動とは

「国土を測る」活動を様々な観点・切り口により整理・明確化

(例)具体的に距離や大きさを「測る」行為、国土管理を行う上で必要なこと、自然災害から人々を守ることに役立つもの、誰もが関わることができる分野、等

「国土を測る」活動の意義や役割等の適切な伝え方

「広報」と「教育」の2本柱で、「国土を測る」意義と役割の効果的な伝え方を整理

【1】広報活動を通して多くの人々に伝える

基本的理念や効果的な広報、
受け手別の手段等

<基本的理念、効果的な広報>

- ・**広報の受け手の明確化**
- ・**受け手側の視点**から応える
相手の知りたがっている情報を提供する
- ・**広報スター**の育成
見れば意義や役割をイメージできるように
- ・**ストーリー**で伝える
例示による説明や、時系列に沿った説明
- ・**地図**を利用した広報活動
地図に含まれる情報・表現の魅力を伝える

<受け手別の効果的な伝え方の例>

- ①**一般の人々**
科学館の活用、イベントの開催 など
- ②近い将来の**担い手**とその保護者
インターンシップ、学校訪問 など
- ③「国土を測る」分野に**関心の高い人々**
SNSの利用、検定、特別イベント など
- ④**マスコミ**関係者
分かりやすい事例、説明会開催 など
- ⑤**行政機関**関係者
説明会の機会活用、正確な情報 など
- ⑥「国土を測る」**活動に関わっている人々**
業界広報誌、広報推進協議会 など

【2】教育支援を通して多くの人々に伝える

場面別にみた教育の観点・方法等

<4つの場面>

- ①小・中学校における教育:
三次元の地図など**わかりやすい教材**の提供、**児童書や科学雑誌**の活用
科学館や博物館と連携した学習機会の創出
- ②高校における教育:
「地理総合」必修化に向けた**教員支援**と教材開発
教科書会社へのコンテンツ提供、**科学オリンピック**を通じた関心の惹起
- ③大学、専門学校などにおける教育:
企業や団体と連携した**実習や見学**実施、教員の支援と教材整備
サマースクール等の機会提供
- ④生涯教育、地域教育:
地域防災教育での活用、**出前講座**の実施、
身近な地域がわかるインターネットメニューの充実

伝えると同時に必要な取組

広報活動、教育支援に併せて実施が必要な取組

- ①活動に従事する者の**働きやすい環境**の整備、②「国土を測る」活動を支える**人材の育成**、③将来の活動に向けた**仕組みの改善**、
④**災害対応**におけるデジタル地図の積極的な活用、⑤地理空間情報の**高度活用**の推進、⑥**国際的な視野**からの取組の推進